

図書館通信 12月号 宇東図書館委員会

11月の第2回読書会では、ビブリオバトルを行いました。様々なジャンルの本が紹介され、とても充実した時間を過ごすことができました。そこで、今回の図書館通信 12月号では、チャンプ本に選ばれた本と、読書会に参加した生徒の感想を紹介します。



1年4組 上杉 夏蓮さんのおすすめの本

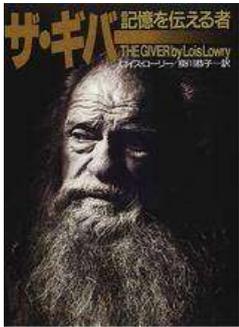
『吾輩は猫である』 夏目 漱石 著

主人に拾われた野良猫が、私たち人間を俯瞰した目線で語っていく。主人と周りの人間たちの日々の様子を綴る。緩やかな時間が流れるこの本の世界を、是非1度味わってみてください。

2年1組 山ノ内 莉央さんのおすすめの本

『ザ・ギバー』 ロイス・ローリー 著 / 掛川 恭子 訳

皆さんも一度は完璧な世界を思い描いたことがありませんか？ 失業者がいなくて、天気も操ることができて、誰もが命の危機なく幸せに過ごせる世界を考えたことはありませんか？ この本はそんな世界での話。完璧な世界の仕組みを1人で知っていく主人公。完璧な世界と引き換えに失うものは何なのか。本当に大切なものとは何なのか。今、すごいスピードで科学が進化しているこの世の中で読んでほしい一冊です。



2年4組 水野 凜さんのおすすめの本

『十二国記』 小野 不由美 著

私たちが住む蓬萊の海を越えるとそこには十二国という異世界が広がっている。各国の王と麒麟を中心に起こる数々の争乱。安寧な国のために必死に戦う登場人物たち。人として失ってはならないものは何なのか。彼らの苦難や成長を通して十二国の壮大な世界を旅してみませんか？ 緻密で入念な物語構成に一度はまると抜け出せない！ あなたの想像力を極限まで掻き立てる異世界ファンタジー！



1年

ビブリオバトルには初めて参加するので、どんなことを言えばいいのかわからなくて緊張しましたが、伝えることができて楽しかったです。また、人の発表を聞くのも、それぞれ紹介する本が違うので、自分が聞いたことのない、面白そうな本にも巡り合うことができ、とても充実した時間だと思いました。気になっていた本も紹介されていたので、どういう話なのか知ることができてよかったです。発表者の熱意のこもったスピーチを聞き、自分もこんな風に熱く語るような本にたくさん巡り合いたいと感じました。

2年

どの本も私が読んだことのない本ばかりで、面白そうだなと感じました。普段あまり本を読まないのですが、3人が紹介してくれた本はとても魅力的で内容も深みがあるものだったので、ぜひ読んでみたいと感じました。普段朝読書以外の時間で本に触れる機会がないので、今後はもっとこのような時間を大切にしたいと思いました。

いつも自分が手に取って読むジャンルとは違う本の紹介も、とても面白かったですよ～。みなさんのクラスでも、ぜひビブリオバトルに挑戦してみてください。

